

東京放射線

2018年12月号

Vol.65 No.767



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

卷頭言

片手にそろばん 篠原健一

お知らせ

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について
2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項

連載

「急性疾患アラカルト」 第三部 骨折系「四肢外傷」 比内聖紀

平成30年東京放射線総目次

会費減額制度のお知らせ

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2018年

DEC

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 片手にそろばん	会長 篠原健一 4
会告1 「新春のつどい」のご案内	5
会告2 平成30年度城南支部研修会	城南支部委員会 6
会告3 第83回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告4 第17回ウインターセミナー	学術教育委員会 8
会告5 第11回MRI集中講習会	学術教育委員会 9
会告6 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 10
会告7 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	11
お知らせ1 平成30年度第3地区研修会	第3地区委員会 12
お知らせ2 平成30年度第12地区研修会	第12地区委員会 13
お知らせ3 第4地区・第16地区研修会(SART第2地区合同開催)	第4地区・第16地区委員会 14
お知らせ4 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	15
お知らせ5 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項	16
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第三部 骨折系「四肢外傷」	比内聖紀 21
こえ	
・第1地区研修会「大腸CTの基礎」に参加して	小野崎良介 28
パイプライン	
・超音波画像研究会 第255回定例会	29
・平成30年度第3回関東Angio研究会(第5回ステップアップセミナー)	30
・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田	32
・日本消化器画像診断情報研究会 第31回東京大会	33
平成30年度4月～10月期会員動向	34
平成30年度第7回理事会報告	36
平成30年東京放射線総目次	38
会費減額制度のお知らせ	42

Column & Information

・イエローケーキ	29
・学術講演会・研修会等の開催予定	35

卷頭言



片手にそろばん

会長 篠原健一

本年10月の日本診療放射線技師会／第6回理事会に先立つ特別講演で、鈴鹿医療科学大学・豊田長康学長は教育・学校運営の理念を熱く語られるとともに、少子化その他の要因による私学経営の厳しい実態なども吐露された。最後に豊田学長は、「理念と情熱を併せ持った健全経営」という意味で「右手にロマン、左手にそろばん」と締めくくられたが、とても素晴らしいご講演であった。

さて、皆さまには機会あるごとにお知らせしているが、現在本会が実施する学術大会の準備が2つ動いている。一つは来年6月29日(土)・30日(日)に開催する「関東甲信越診療放射線技師学術大会(東京大会)」である。会場は早々に一橋講堂と決まり、準備会議の名称も今年度から正式に“…実行委員会”とした。白木実行委員長を中心に、6月に開催された関東甲信越～新潟大会でのプレゼン、プログラム編成、ポスター制作など順調に推移している。『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』のテーマで実行委員一同、準備活動を楽しんでいるところである。

もう一つは3年後(2021年)の第37回日本診療放射線技師学術大会+第23回AACRT(アジア・オーストラレシア放射線技師学術会議) 東京開催である。諸般の事情により開催会場をなかなか決められずにいたが、いよいよ大枠が固まった。当初想定していた「東京ビッグサイト(東京国際展示場)案、2021年11月12日～14日開催」にほぼ決定である。ほぼというのは、正式な契約がまだであり、日程および実施スペースの若干の調整があるからである。しかしながらNPO法人・東京観光財団のご協力と日本診療放射線技師会・中澤会長のご理解により、年内に決められたのは大変意義がある。というのも、来年3月に第22回AACRTがオーストラリアのアデレードで開催され、そこでは次期開催地のプレゼンを行うからである。次期開催国の診療放射線技師の皆さま方が一人でも多くアデレード大会に参加していただければ幸いである。

余談だが、2015年の第20回AACRT(シンガポール)において、本来は2019年の第22回AACRT招致に日本は立候補した。しかしオーストラリアと競合することとなり、各国(地域)1票による投票の結果は8対8であった。議長(ISRRT委員=タイ)提案により、本来は4年後の第22回の開催国を決める会議であるが特例として抽選で第23回開催地も決めるということが採択され、結果2019年がオーストラリア、2021年が日本となった。しかし結果論であるが、2021年でよかったと思っている。2019年になっていたなら、東京五輪・パラリンピック前年の混乱もあったろうし、前述の関東甲信越～東京大会とも重なった。天の采配に感謝である。

なお、どちらの学術大会も、場所があって、プログラムがあって、実行委員がいればできる(成り立つ)わけではないことは言をまたない。必要不可欠な施設スペース・資材／設備の確保をしながら、可能な限り会場にかかる固定費を削減し、できる限りの参加登録・協賛をお願いしたい。学術大会本来の目的達成、テーマに沿った演出、参加各位の満足度向上を図るとともに、健全収支も図っていかなければならない。

日本近代経営の父と呼ばれる『渋沢栄一』は常に道徳経済合一説、いわゆる「片手にそろばん、片手に論語」を唱えた。“論語”的ところを今風に直せば、豊田学長曰く「理念(ロマン)」だろうか。学術大会もそうあるべきだ。どちらかだけでは駄目なのである。

会 告 1

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成31年1月11日（金）18時30分～20時00分

（受付開始18時00分より）

開催場所：「ホテルラングウッド」 2階 凤凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次 第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会費：6,000円

新卒かつ新入会員*の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会告 2

平成30年度 城南支部研修会

テーマ「改正された放射線障害防止法と医療施設の対応」 —放射線障害予防規程作成にむけて—

講師：元国立がん研究センター中央病院治療部診療放射線技師長 小高 喜久雄 氏
東邦大学医療センター佐倉病院中央放射線部技師長補佐 伊藤 照生 氏

平成30年4月の放射線障害防止法の改正により、医療施設でも対応が求められています。城南支部委員会では経験豊富な2名の講師をお招きし、医療機関の立場になって改正法をどのように取り入れていけばよいか、第4条改正で本年4月より施行された施行規則等をどのように理解すればよいのか。また、来年の8月30日までに提出しなければならない予防規程の作成をどのように行えばよいのかなどを、ご講演していただく機会を設けました。放射線管理担当者のみならず、事務職など関係職種お説明合わせの上、皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成31年1月12日（土）14時00分～17時30分（受付開始13時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
目黒区大橋2-22-36

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>)
の参加申し込みフォーム（研修会申し込み
先は“城南支部”を選択）からお申し込みく
ださい。または会誌の研修会等申し込み用
紙にて事務所にFAXでお申し込みくださ
い。

問い合わせ：城南支部委員会

E-mail : shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長（城南支部委員長） 原子 満
第11地区委員長 千葉利昭
第8地区委員長 三富 明
第4地区委員長 目黒一浩



以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第83回日暮里塾ワンコインセミナー～入会促進セミナー～ 「～学術教育が選んだ発表演題～」

恒例となりました「学術教育が選んだ発表演題」です。平成30年度に発表された演題の中から興味深いものを厳選し、再度発表していただきます。参加できなかつた方、参加していたが聞けなかつたという方、再度聞きたい方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

さらに毎年、この演題群の中から学術奨励賞、新人賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力をお願い致します。

今回は入会促進セミナーということで参加費無料となっております。

～内 容～

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 線量低減を目的とした骨盤撮影条件の検討 | 公立福生病院 鮎川 幸司 |
| 2. 放射線部門における外国人患者対応への取組みについて | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 富原 潤 |
| 3. 遺物確認用画像処理パラメータを用いた、視覚評価による有用性の検討 | 大和会東大和病院 高橋 雄大 |
| 4. マンモグラフィ読影補助業務における乳腺構成分類の基準画像を用いた効果について | 昭和大学藤が丘病院 白川 裕唯 |
| 5. DWIBS検査における撮像方向の基礎的検討 | 昭和大学江東豊洲病院 西村 栄子 |
| 6. 超高精細CTにおける逐次近似再構成を使用した側頭骨CTの画質評価：
画像スライス厚および撮影線量1/2への検討 | 杏林大学医学部付属病院 山村 恒 |
| 7. CTガイド下生検における放射線防護ドレープを用いた被ばく低減の検討 | 公立昭和病院 圓城寺純至 |
| 8. 腰椎分離すべり症における単純X線画像を用いた形態学的特徴の検討—予後因子について | 昭和大学病院 山下 優夏 |
| 9. 夜間・休日救急診療における読影補助の取組みについて | 東京都保健医療公社大久保病院 五十嵐三紀 |
| 10. 胎児CTにおける自作ファントムを用いた胎児被ばく線量の検討 | 東邦大学医療センター大森病院 尾池 里紗 |

記

- 日 時：平成31年1月17日（木）18時30分～20時30分
 場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
 受 講 料：無料
 申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
 カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与
 問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp
 公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724 以上

会 告

4

第17回ウインターセミナー

テーマ「病室撮影（ポータブル撮影）の現状」

今回はポータブル撮影を取り上げます。

ポータブル撮影は日々行われており、撮影状況は多岐にわたります。今回は各施設でのポータブル撮影状況を拝聴し、現場での参考にしたいと思います。また、今回はポータブル撮影のアンケートを実施し、各施設の現状を報告します。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00	病室（ポータブル）撮影の線量低減の工夫	公立福生病院 城尾 俊
15:15	救急撮影現場（初療室）での撮影の実際と注意点	災害医療センター 森屋和也
15:45	アンケート報告 ①条件（グリッドの有無、電圧、その他） ②体位（座位撮影、円背撮影、その他） ③技術（散乱線除去技術の有無） ④管理（日々点検、保守点検）	
16:05	病室撮影での実際～撮影体位～	イムス葛飾ハートセンター 米澤俊和
16:35	病室撮影での実際～画像処理・線量～	杏林大学医学部付属病院 白川佑也

※内容については若干変更が生じることがあります。

記

日 時：平成31年1月26日（土）15時00分（受付開始14時30分～）

会 場：公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院

〒110-8645 東京都台東区東上野2-23-16

ア クセス：JR各線 上野駅浅草口より 徒歩約7分

地下鉄銀座線 上野駅 3番出口より 徒歩約5分

地下鉄銀座線 稲荷町駅 1・2番出口より 徒歩約6分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第11回MRI集中講習会

第11回MRI集中講習会を開催致します。各講義では専門試験問題の解説も含めて行い、本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します（参加者には無料配布）。
多くの方のご参加をお待ちしております。

～プログラム～

13:00～13:40 安全管理（専門試験問題含む）

講師：みたかクリニック 渡辺 靖志 氏

13:40～14:40 原理（基礎）（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

14:40～15:40 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

15:40～16:10 ブレイクタイム

16:10～17:10 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:10～18:10 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属柏病院 北川 久 氏

記

日 時：平成31年2月3日（日）13時00分～17時50分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申込方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修5.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告



平成30年度 SR推進委員会（公益・災害）研修会

テーマ「緊急被ばく医療講習会～3.11を風化させないために～」

講師：SR推進委員会

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。現在、政府は、2020年に向けた取組事項を公表しており、そのひとつとして「テロ対策・NBC災害対応力強化」を挙げ、対応策をとりまとめています。われわれも緊急被ばく医療（原子力災害時医療）に対する対応を十分に考慮しておく必要があると考えています。そこで、放射能汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキルについて、昨年度から一つずつ見直しております。

本年度はクイックサーベイについて再確認を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

～ 3.11の経験とその後の対応を踏まえて ～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. クイックサーベイ（概論）
3. クイックサーベイ（実習）

記

日 時：平成31年3月10日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成30年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成30年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受講料：会員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

【第5回】

日 時：平成31年1月26日（土）9時20分～17時30分（受付開始9時00分～）

平成31年1月27日（日）8時30分～17時40分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募 集人 数：30名

【第6回】

日 時：平成31年3月2日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成31年3月3日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア クセス：未定

募 集人 数：未定

以上

お知らせ

1

平成30年度 第3地区研修会 ティーチングファイル —ここがポイント— テーマ「大血管の解剖から撮影・見つかる疾患」

今回は主に大血管について勉強をしたいと思います。血管の解剖・生理機能から撮像や治療方法まで皆まとめて学びたいと思います。また経過観察の多い部位なので撮影画像の再現性も大切になります。

今一度、復習をして理解が深まればと考えます。皆さまのご参加をお待ちしています。

～ プログラム ～

「血管の解剖・生理」	国立がん研究センター東病院 熊谷 大樹 氏
「血管造影CTの撮像方法」	東京医科大学病院 平瀬 繁男 氏
「血管撮像—撮影から見つかる疾患」	東京医科大学病院 松本 亘 氏

記

日 時：平成31年1月29日（火）19時00分～20時30分（受付開始18時30分）

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟 4階第2講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

アクセス：東京メトロ丸ノ内線西新宿駅より 徒歩約1分、JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第3地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

その他、直接下記メールアドレスまで件名『第3地区研修会』にて送信をお願いします。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男

E-Mail：area03@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

現在、工事中です。



以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度 第12地区研修会

テーマ「学会発表への道～ネタ探しのコツから英文発表まで～」

講 師：公立福生病院 医療技術部部長 市川 重司 技師

多くの方は“学術発表”と聞くと敷居が高く敬遠しがちなイメージがあるかもしれません。いざ発表するとなっても、ネタ探しはどうするのか？ 何から手を付ければいいのか？ 質問されたらどうしよう？ など不安なことが頭に浮かんでくることもあります。そんな悩みを東京都No.1の演題発表数の病院を築き上げた学術発表のプロ中のプロに解決していただきます！

基礎、実践、コツ、教育、裏技、マル秘話?! など盛り沢山の内容です。学術発表の必要性や日常業務に役立つ理由を再確認してみてはいかがでしょうか。これから学会デビューする方はもちろん、職場で指導する役職の方もぜひご参加ください。お待ちしております（なお、当日は講演の最後に、お手本として福生病院の診療放射線技師から、実際発表した演題を発表していただきます）。

記

日 時：平成31年2月22日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：佐々総合病院 三号館 4階ホール

ア クセス：西武新宿線 田無駅北口より 徒歩約3分

受 講 料：診療放射線技師500円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第12地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 鈴木 晋 E-Mail : areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

3

第4地区・第16地区研修会 (SART第2地区合同開催)

テーマ「骨軟部 撮影セミナー2019～更なるスキルアップを目指して～」

記

日 時：平成31年2月24日（日）10時00分～18時00分

場 所：JR東京総合病院 東京都渋谷区代々木2丁目1-3

ア クセス：JR新宿駅 南口・甲州街道改札・新南改札より 徒歩約5分

JR代々木駅 北口より 徒歩約5分

都営大江戸線新宿駅 A1出口より 徒歩約1分

小田急線南新宿駅より 徒歩約5分

受 講 料：2,000円

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第16地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 目黒一浩 E-Mail : area04@tart.jp

第16地区委員長 工藤年男 E-Mail : area16@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

セッション1 10:00 ▶ 11:00	MRIセッション	座長 上尾中央総合病院 石川 応樹
-------------------------	----------	-------------------

「軟部腫瘍MRIを好きになろう！」

①「撮像のための基礎知識」

埼玉石心会病院

諸田 智章

②「症例から得られる軟部腫瘍MRIのポイント」

東京慈恵会医科大学附属柏病院

栗山 和

セッション2 11:10 ▶ 12:10	メーカーセッション	座長 JR東京総合病院 後藤 太作
-------------------------	-----------	-------------------

「ランチョンセミナー（3社20分）」

セッション3 12:40 ▶ 13:10	救急セッション	座長 埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純／東京都済生会中央病院 目黒 一浩
-------------------------	---------	--

「外傷患者における撮影方法の工夫」

獨協医科大学埼玉医療センター 遠藤 駿登

セッション4 13:20 ▶ 14:20	DRセッション	座長 埼玉医科大学病院 堀切 直也
-------------------------	---------	-------------------

①「画像処理技術と活用方法」

上尾中央総合病院 樋口 誠一

②「粒状性低減処理を知って線量低減を考える」

済生会川口総合病院 戸澤 優太

セッション5 14:30 ▶ 15:40	パネルディスカッション	座長 東京大学 田部井 勝行
-------------------------	-------------	----------------

「骨単純X線撮影領域における検像の現状と問題点～より良い一般撮影業務を目指して～」

①埼玉医科大学病院 林 洋希 ③上尾中央総合病院 茂木 雅和

②東京慈恵会医科大学附属病院 茂木 正則 ④昭和大学病院 安田 光慶

教育講演 15:50 ▶ 16:50	「(教育講演)」	座長 春日部市立医療センター 工藤 年男
-----------------------	----------	----------------------

「放射線部門におけるヒューマン・エラー対策の人間工学的アプローチ」

人間総合科学大学人間科学部 教授 佐藤 幸光 先生

特別講演 17:00 ▶ 18:00	「(特別講演)」	座長 東京メディカルクリニック 荒木 智一／所沢ハートセンター 大西 圭一
-----------------------	----------	---------------------------------------

「骨軟部画像診断について（仮）」 東京メディカルクリニック画像検査センター 顧問／学校法人慈恵大学 名誉教授 福田 国彦 先生

※駐車券はございませんので公共交通機関をご利用ください

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

本会ではソウル特別市放射線士会との学術交流協定に基づき、下記日程の学術大会で研究発表を行う会員に対して、渡航費および滞在費の一部を助成します。この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学会名	2019年ソウル特別市放射線士会学術大会
日 時	2019年3月14日(木)～17日(日) (International session : 3月16日)
会 場	大韓民国ソウル市・COEX ソウル特別市 江南区 三成洞159貿易センターCOEX

記

【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします。
- ② スライドもすべて英語表記とします。
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします（期限は演題採用決定後通知）。

【2】応募資格

公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員で、平成30年度会費完納者に限ります。

【3】募集演題数：2題

応募演題の中から学術教育委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

【4】応募方法および期限

下記2種類の書類を平成30年12月26日(水)までにメールにて送付してください。

- ① ソウル特別市放射線士会学術大会参加費用等助成申請書

本会ホームページからダウンロード（Wordファイル）し、押印の上、PDFファイルで保存してください。

- ② 応募演題

図表なしで目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ1枚以内で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

送付先（お問い合わせ）アドレス：tart@tart.jp

（メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください）

【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

以上

お知らせ

5

2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項

【1】応募資格

一般セッションの発表者は、日本診療放射線技師会会員で平成30年度会費完納者に限ります。ただし、診療放射線技師養成機関に所属する学生または外国籍の方はこの限りではありません。

【2】募集期間

2018年12月3日（月）正午～2019年2月15日（金）終日

【3】発表形式

- (イ) 一般セッション（口述発表）
- (ロ) インターナショナルセッション（口述発表）
※発表言語・スライドは英語のみ、質疑応答は日本語または英語
- (ハ) 学生セッション（口述発表）

【4】登録方法

- (イ) ホームページの「演題登録」ボタンよりご登録ください。
※インターナショナルセッションへ応募される場合は、該当の登録ボタンよりお進みください。
- (ロ) 登録には演題区分（【9】を参照）、発表者名、発表者所属機関名、発表者会員番号、共同研究者名、共同研究者所属機関名、共同研究者会員番号が必要です。
- (ハ) 一般セッションと学生セッションでは抄録（本文全角600字以内）が必要です。
インターナショナルセッションでは英文抄録（200単語以内）が必要です。
- (ニ) 演題受領通知は、e-mailで登録時、修正時にその都度連絡します。受領メール（1週間以内）が届かない場合は、運営事務局（endai2019@tart.jp）までお問い合わせください。
- (ホ) その他、登録制限は下記の通りです。
演題タイトル：全角80文字以内
抄録に図表の挿入はできません。
共同研究者は最大10名、所属機関は最大10施設まで登録可能です。

【5】演題の採否、演題区分、発表形式、日時について

- (イ) 応募演題の採否、演題区分、日時は、プログラム委員会で決定します。決定後の変更は一切認めません。
- (ロ) 演題採用通知は3月末日までにメールにて申し込み者全員に通知します。
※応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地域学術大会などで発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについては、プログラム委員会で不採用の決定をする場合があります。
- (ハ) 応募演題については、基礎研究、応用研究のいずれにおいても研究倫理に十分な配慮がなされたものであり、発表内容に関しては発表者が最終責任を負うこととします。

【6】研究の倫理面に関する注意事項について

応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。また人間を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です。

【7】利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表者に「利益相反 (Conflict of Interest ; COI)」の開示を求めます。演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄で「ある」または「ない」をご選択ください。「ある」の場合、利益相反に関する申告書をご提出いただく必要があります。詳細につきましては、日本診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

【8】注意点

- (イ) 提出いただいた抄録は、学術大会の演題コンテンツの一部として大会ホームページなどに掲載しますので了承をお願いします。
- (ロ) 演題登録は原則として専用サイトを利用したオンラインのみとします。オンライン登録はインターネットに接続でき、本人の電子メールが利用できる環境が必要です。
- (ハ) 演題登録の受け付けは、申し込み時に登録いただいたメールアドレスに電子メールで連絡します。確認メールが届かない場合は未登録扱いとなりますので、運営事務局まで問い合わせてください。そのまま放置された場合、事務局では一切の責任を負いかねます。

【9】演題領域区分

1. 医療基礎

1 医療社会倫理	医療技術の進展に伴って生じる臨床上の問題、インフォームドコンセント、接遇（患者とのコミュニケーション・接遇、五感の不自由な患者への対応、セクハラ防止）、AIなど
2 チーム医療	チーム医療への取り組み（実践例）・がん医療
3 カウンセリング	放射線カウンセリング学の研究、調査、教育
4 その他	どの区分にも該当しない演題

2. 放射線管理

1 放射線被ばく	医療被ばくやその低減、従事者などの被ばくやその低減
2 被ばく管理	放射線管理、管理用装置機器
3 放射線計測・測定	計測技術など
4 その他	どの区分にも該当しない演題

3. 機器管理

1 機器管理、保守管理	機器管理、保守管理
2 医療機器安全管理責任者講習	医療機器安全管理責任者講習に関する実践
3 その他	どの区分にも該当しない演題

4. 医療安全

1 医療安全	医療安全、インシデント・アクシデント
2 リスクマネジメント	リスクマネジメント
3 教育・研修	新人教育研修、中堅教育研修
4 その他	どの区分にも該当しない演題

5. 医療画像

1 読影	読影の実践
2 医療画像精度管理	感光材料、信号検出能、画像表示装置、画像評価
3 医療画像情報管理	医療情報システム、医療データ保存・管理、画像圧縮技術、画像通信
4 その他	どの区分にも該当しない演題

6. 教育

1 人材育成	中高生への進学指導など地域での取り組み、オープンキャンパスなど教育機関での取り組み
2 技師教育	診療放射線技師養成機関での教育、新人教育・中堅教育・管理職教育、機器関連・医療情報関連メーカーの診療放射線技師の教育など
3 OJT (On-the-Job Training)	施設内教育・教育訓練
4 その他	どの区分にも該当しない演題

7. X線撮影

1 画像評価	MTF、画像処理技術
2 臨床応用	撮影技術、臨床評価
3 造影	造影手法、効果、副作用
4 被ばく・放射線計測	DRLなど
5 装置・関連器具	補助具、固定具など
6 その他	どの区分にも該当しない演題

8. X線CT検査

1 画像評価	MTF、NPS、画像処理技術
2 臨床応用	撮影技術、臨床評価
3 造影	造影手法、効果、副作用
4 被ばく・放射線計測	CT-AEC、CTDI、DRL
5 装置・関連器具	area detector、dual energy CT、固定具
6 その他	どの区分にも該当しない演題

9. MRI検査

1 画像・臨床	撮像技術、臨床技術
2 性能評価	性能評価、アーチファクト
3 機能描出・MRS	Diffusion、Perfusion、fMRI、ASL、MRS
4 血管関連	MRA、MRV、ブラークイメージ
5 薬剤関連	造影剤、その他薬剤
6 装置・器具関連	コイル、シミング、装置開発、関連器具
7 安全・保守管理	吸引、発熱、神経刺激、問診
8 その他	どの区分にも該当しない演題

10. 血管撮影

1 撮影技術	撮影方法・撮影プログラム
2 装置管理	始業点検、メンテナンス
3 画像評価	画像処理技術
4 被ばく管理	システム
5 読影	技師による読影補助、遠隔読影システム
6 安全管理	教育、マニュアル
7 臨床応用	臨床評価
8 その他	どの区分にも該当しない演題

11. 消化管撮影

1 物理特性	物理評価、画像処理技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 撮影技術	撮影技術、手法
4 臨床応用	症例、ヘリコバクターピロリ、ABC検診、内視鏡
5 その他	どの区分にも該当しない演題

12. 超音波検査

1 腹部領域	肝臓、胆嚢、脾臓、腎臓、脾臓、膀胱、消化管、肝造影検査
2 体表領域	甲状腺、乳腺、乳腺造影検査、表在、整形
3 循環器・血管領域	心臓、頸動脈、上下肢動脈
4 その他	どの分野にも該当しない演題

13. 核医学

1 SPECT	脳、心臓など
2 PET	臨床、その他
3 一般	核医学検査総論、機器の精度管理など
4 その他	どの区分にも該当しない演題

14. 放射線治療

1 外部照射	放射線治療技術、X線、電子線、シエル・固定具など技術評価
2 IGRT	IMRT、定位放射線治療
3 小線源治療	RALS、組織内照射、腔内照射、モールド照射
4 治療計画	品質保証、品質管理、計算アルゴリズム
5 保守管理	精度管理、精度検証
6 その他	どの分野にも該当しない演題

15. 乳房撮影（マンモグラフィー）

1 物理特性	物理評価、画像処理技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 臨床応用	撮影技術、臨床評価
4 その他	どの区分にも該当しない演題

16. 骨密度検査

1 画像・臨床	撮像技術、臨床技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 その他	どの区分にも該当しない演題

17. 疾病・臓器

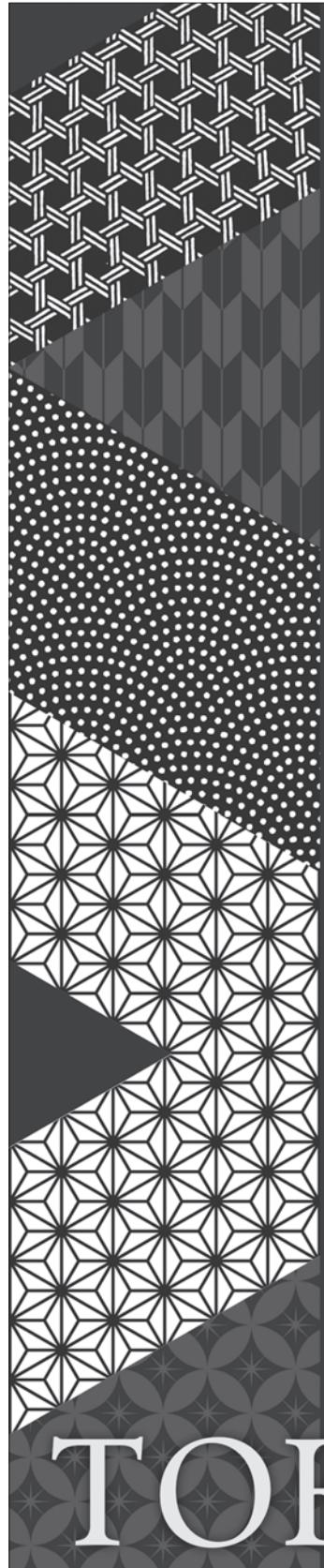
1 頭頸部	
2 胸部	
3 腹部	(超音波、一般撮影、MRI、CTなど複合のモダリティーの画像から有用であった臨床についての発表)
4 骨・軟部領域	
5 循環器	
6 その他	どの区分にも該当しない演題

18. その他

1 その他	上記いずれのセッションにも含まれないとと思われる診療放射線技師に関する演題
-------	---------------------------------------

<大会事務局> 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<運営事務局> 株式会社クバプロ

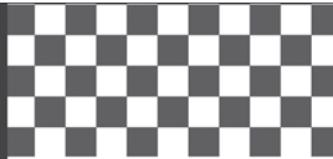


TOKYO

2019年度 関東甲信越 診療放射線技師学術大会 つながる医療 つなげる和 One for all, All for one

2019年度

2019年
6月29日土・30日日



【主催】

公益社団法人日本診療放射線技師会
公益社団法人東京都診療放射線技師会
一般社団法人群馬県診療放射線技師会
一般社団法人山梨県診療放射線技師会
一般社団法人栃木県診療放射線技師会
公益社団法人神奈川県放射線技師会
公益社団法人茨城県診療放射線技師会
一般社団法人千葉県診療放射線技師会
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会
一般社団法人新潟県診療放射線技師会

【実施】

公益社団法人東京都診療放射線技師会

【大会長】

篠原健一

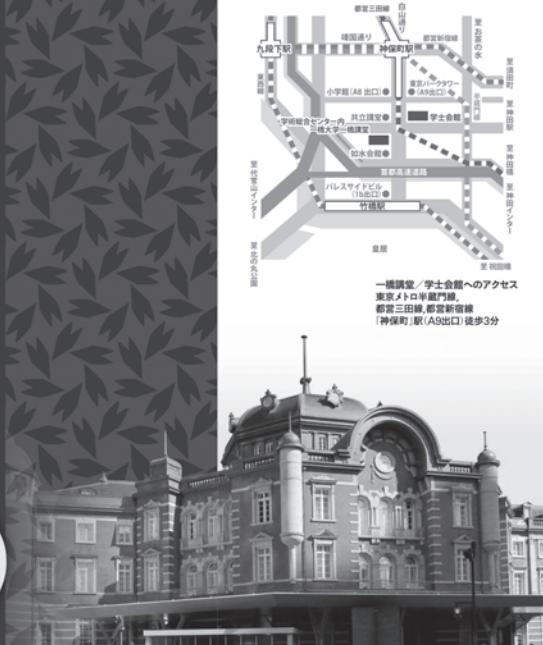
公益社団法人東京都診療放射線技師会会长

【会期】

2019年
6月29日土・30日日

【学会会場】
一橋大学一橋講堂

【情報交換会会場】
学士会館



第三部 骨折系 四肢外傷

日本大学医学部附属板橋病院 中央放射線部 比内 聖紀

サマーセミナーやウインターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載しています。第十四回目は、四肢外傷について解説致します。

1 はじめに

四肢外傷は救急外傷の中でも多く、損傷程度も軽度から重度まで多様である。画像診断の基本は単純X線画像である。今回は、高齢者に多い骨折や小児における代表的な外傷を中心に概説する。

2 上肢

1. 上腕骨近位端骨折

高齢者の四大骨折の一つである（表1）。骨粗鬆症を伴う高齢者に多い骨折で、近年、大腿骨頸部骨折とともに増加傾向にある。受傷機転は、腕を伸展して転倒、または肩を強打した場合に起こる。

骨折の重症度を判断する分類法にNeer分類があり、骨片の1cm以上の解離、あるいは45°以上の回旋をもつ

て転位と定義する。また、その転位した骨片の数（2-part, 3-part, 4-part）と骨折部位（解剖頸、外科頸、大結節、小結節）によって分類し、さらに脱臼骨折も加えている。単に骨折を認めるというだけではなく、定義された転位をもって骨片の数に入れていくことがNeer分類を適応するポイントとなる¹⁾。

3-part骨折以下の骨折治療では骨癒合を目的とすることが多いのに対し、4-part骨折は、骨頭への血流障害により骨癒合を得ることが困難であるために、人工骨頭置換術が選択されることが多い²⁾。

〈症例1〉 上腕骨外科頸骨折 4-part骨折（図1、2）

64歳、男性、転倒し受傷した。

外科頸、大結節および小結節に骨折を認める。
遠位骨片の近位、内側転位を生じた4-part骨折。

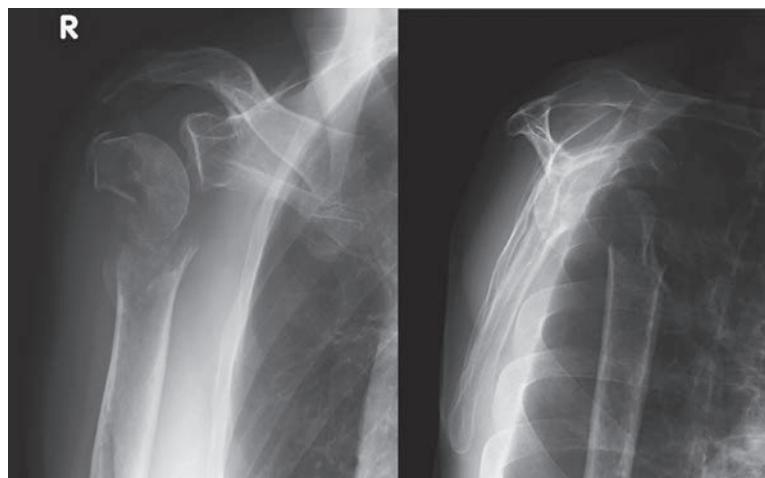


図1 正面像 (true AP)

図2 スカプラY像

表1 高齢者の四大骨折

好発部位
① 上腕骨近位端骨折
② 大腿骨頸部骨折
③ 橫骨遠位端骨折
④ 脊椎圧迫骨折

2. 上腕骨顆上骨折

15歳以下に幅広く発生する小児骨折の中で頻度の高い骨折であり、肘関節周囲の骨折では最も多い(60~80%)。受傷機転により、伸展型と屈曲型に分けられ、肘関節の過伸展強制によって起こる伸展型が大部分を占める。わずかなbuckle fractureから、転位を伴う完全骨折まで、程度はさまざまである。分類としては、阿部の分類が用いられることが多い。変形治癒の遺残しやすい骨折であり、血行障害や神経麻痺などの合併症が挙げられる。

肘関節側面像では、上腕骨の長軸前縁の線(an-

terior humeral line) が上腕骨小頭の中央1/3を通過するのが正常であるが、顆上骨折(伸展型)では末梢骨片が後方へ転位するため上腕骨小頭の前1/3ないしそれよりも前方を通過する(図3、4)³⁾。

正常の側面像において、上腕骨遠位端前縁に涙滴状の前脂肪体(anterior fat pad)を認めることがあるが、後脂肪体(posterior fat pad)は肘頭窩に隠れるため描出されない(図5)。関節液貯留が存在すると、緊満した関節包により脂肪体が前方と後方に変位する(図6)。肘頭窩に隠れて見えないはずの後脂肪体が描出された場合には、関節内骨折が存在する可能性が高い⁴⁾。

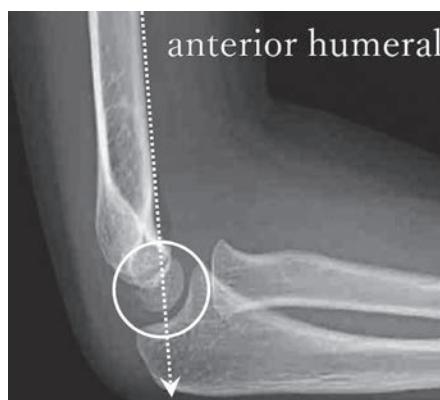


図3 正常像



図4 頚上骨折



図5 正常像

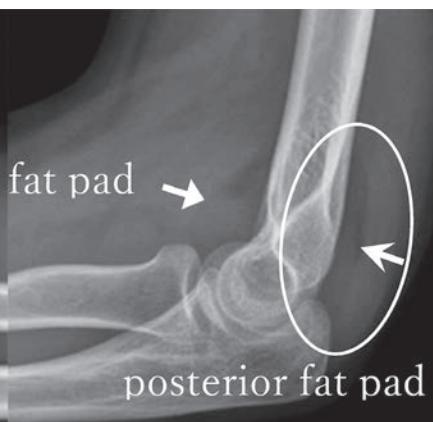


図6 関節液貯留

〈症例2〉 上腕骨顆上骨折 伸展型(図7、8)

8歳、女児、ポールから飛び降り受傷した。

上腕骨顆上部に横骨折を認める。側面像で後脂

肪体(posterior fat pad)が描出されている。

中等度の転位で、骨折片間に接触がある(阿部の分類Ⅲ型)。



図7 正面像

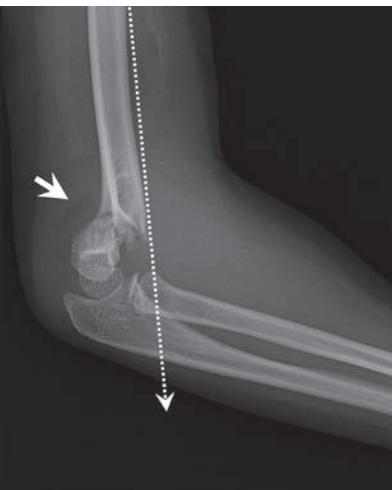


図8 側面像

3. 前腕骨骨幹部骨折

前腕骨骨幹部骨折には、尺骨の近位1/3骨幹部骨折と橈骨頭の脱臼を合併したMonteggia骨折と橈骨骨幹部骨折と遠位橈尺関節脱臼を合併したGaleazzi骨折がある。受傷機転は、打撲や転倒で手をついた場合に起こる。

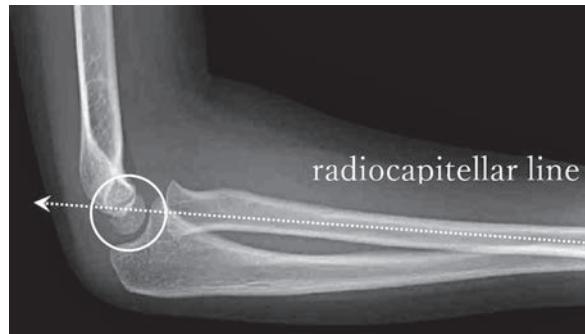


図9 正常像



図10 Monteggia骨折

Monteggia骨折の場合、尺骨骨折に目を奪われて橈骨頭脱臼を見逃すことがある。そのため、X線検査を行う際には、肘関節から手関節を含む前腕の撮影を行う必要がある。Monteggia骨折のタイプ別分類として、Bado分類が有名である。

橈骨頭の脱臼を見つけるポイントとして、橈骨の長軸中央を通過する線(radiocapitellar line)は、肘関節の屈曲・伸展、前腕回内・回外のいかなる肢位、撮影方向でも上腕骨小頭へ向かう(図9)⁵⁾。小児の橈骨頭脱臼では橈骨長軸が上腕骨小頭の前方を通過する(図10)。成人ではMonteggia脱臼骨折の存在を示唆する。

小児の骨折の特徴として、骨の可塑性が高い(しなりやすい)。尺骨の急性塑性変形(acute plastic bowing)がその典型であり、骨折は認められないが、健側と比較すると異常なたわみを有した状態である。塑性変形の評価はmaximum ulnar bow(MUB)⁶⁾で行われ、前腕骨側面像で尺骨遠位端と肘頭の背側縁を結んだ線から尺骨骨幹部背側縁までの最大距離を計測する。MUBの正常値は1mm以下であり、3~5mm以上の場合には整復が必要である⁷⁾。

〈症例3〉 Monteggia骨折(図11、12)

4歳、男児、ガードレールから転倒した。

尺骨近位骨幹部骨折と橈骨頭の脱臼を認める(Bado分類 Type III)。

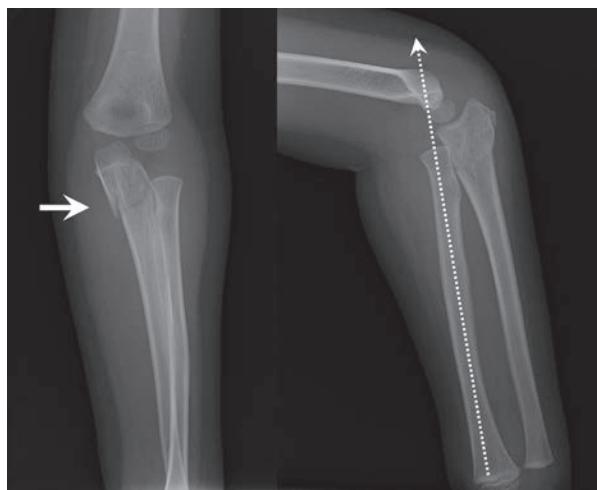


図11 正面像

図12 側面像

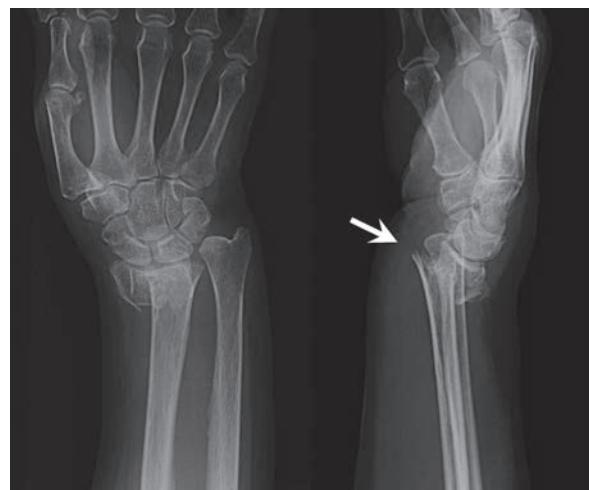


図13 正面像

図14 側面像

4. 桡骨遠位端骨折

骨粗鬆症を伴った高齢者に多くみられ、日常診療において頻繁に遭遇する骨折の一つである。受傷機転は、転倒時に手をついた場合に起こる。

桡骨関節面の背屈変形を伴った関節外骨折は古典的分類でColles骨折といわれる。桡骨遠位端骨折の約80%を占め、手関節背屈位で手掌部をついての受傷が大半である。視診上、いわゆるフォーク状変形を来すのが特徴である。

Colles骨折に対し、掌屈転位を来たした関節外骨折がSmith骨折である。手関節掌屈位で転倒し発生すると考えられているが、実際にはそれほど単純ではなく、むしろ手の肢位は背屈位でそれに前腕の過度の回外が加わることにより起こる方が頻度は高いといわれる。

当初は形態からColles、Smith、Bartonといった名称が汎用され、古典的分類として利用されてきたが、最近では病態をより詳しく分類するAO分類、Frykman分類、Melone分類などが知られている。

〈症例4〉 Colles骨折（図13、14）

84歳、女性、体操教室で転倒した。

背屈転位型の桡骨遠位端骨折がみられ、桡骨の短縮変位と尺骨遠位の転位を認める。

3 下肢

1. 大腿骨頸部骨折

若年の場合、高エネルギー外傷により発生する場合があるが、多くは骨粗鬆症の進んだ高齢者に多い。発生率は男性より女性が高く、40歳から年齢とともに増加し、70歳を過ぎると急激に増加する⁸⁾。骨粗鬆症の程度が強い場合には、骨折が先に起こってから転倒することもあるのではないかといわれている。受傷機転は、90%以上が転倒で発生する。

従来、大腿骨頸部骨折は関節包内の頸部内側骨折と関節包外の頸部外側骨折を含んでいたが、これら二つの部位は治療法も予後も大きく異なるため、頸部内側骨折を大腿骨頸部骨折とし、頸部外側骨折を大腿骨転子部骨折として分類されている。大腿骨頸部骨折の分類としては、Garden分類が一般的に使用される。

大腿骨頸部骨折は難治性の骨折として知られている。治癒困難な理由として、①関節包の内側にある大腿骨頸部には外骨膜が存在しないため“骨膜性仮骨”が形成されない、②頸部側から供給される“血流”が遮断される、③頸部を横断する“骨折線”が剪断力により離開しやすい、などが挙げられる。

〈症例5〉 大腿骨頸部骨折（図15、16）
85歳、女性、転倒後より歩行時に股関節痛。

大腿骨頸部の完全骨折を認め、転位が高度である（Garden分類Stage IV）。

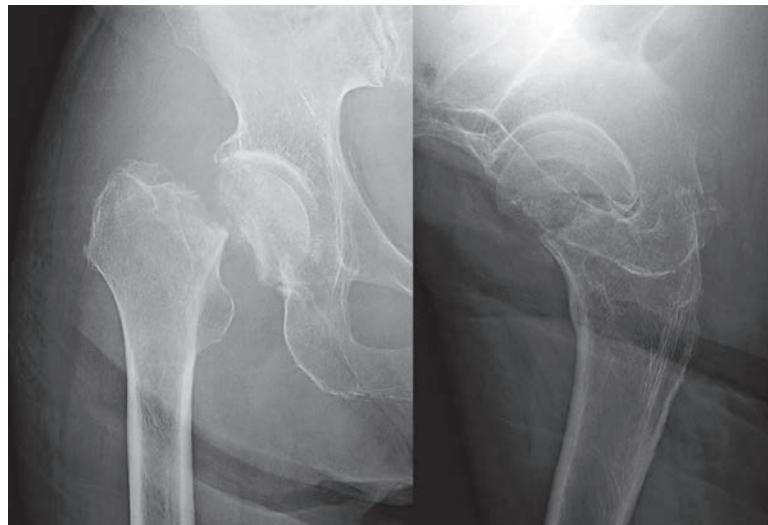


図15 正面像

図16 軸位像

2. 大腿骨転子下骨折

非常に強い力が加わらなければこの部位での骨折は起こらず、交通事故や転落などの高エネルギー外傷により起こることが多いのが特徴である。高齢者にはむしろ少ない骨折である。悪性腫瘍の骨転位などで起こることもある。

大腿骨頸部骨折が難治性の骨折であるのに対し、大腿骨転子下骨折は、血行のよい筋肉組織に

囲まれ骨癒合しやすい。Seinsheimerによって5つのタイプに分類され、現在でも汎用されている分類である。

〈症例6〉 大腿骨転子下骨折（図17、18）
32歳、男性、自転車で転倒した。
粉碎骨折（4-part骨折）している（Seinsheimer分類Type IV）。

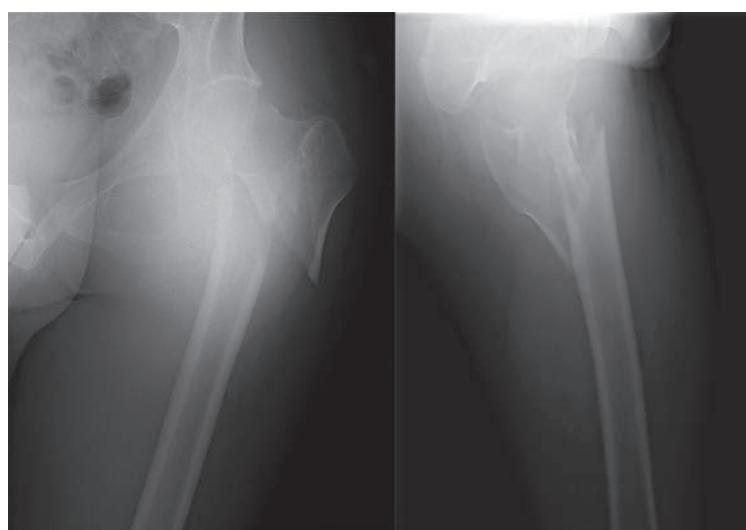


図17 正面像

図18 軸位像

3. 跖骨骨折

ほとんどが高所からの転落や階段を踏み外すことによって、強い衝撃をかかとに受けた場合に生じる。90%以上が転落事故によって起こるといわれている。疼痛や偏平足などにより重篤な歩行障害を残すことが多く、治療に難渋する骨折の一つである。

単純X線による踵骨の分類には、Essex-Lopresti分類がある。この分類は、距骨下関節、特に後距踵関節面に骨折線がおよぶか否かによって、関節内骨折（70%）と関節外骨折（30%）とに分けられ、さらに関節内骨折を踵骨隆起と後距踵関節面

が一体となって骨折する舌状型と後距踵関節面の一部、もしくは全体が踵骨隆起とは関係なく底屈方向に回転して落ち込む関節陥没型に分類するのが特徴である¹⁾。

踵骨側面像において、踵骨前方突起と踵骨隆起のそれぞれから後距踵関節最上点に引いた直線のなす角をBöhler角という。骨折の重症度や整復状態の判定に用いられる。正常でも $25^{\circ} \sim 40^{\circ}$ とバラツキが大きいため、健側との比較が必要である。骨折があると関節面が 0° に近づく（図19、20）。

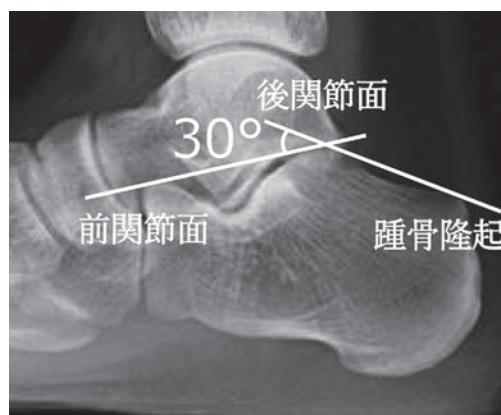


図19 健側

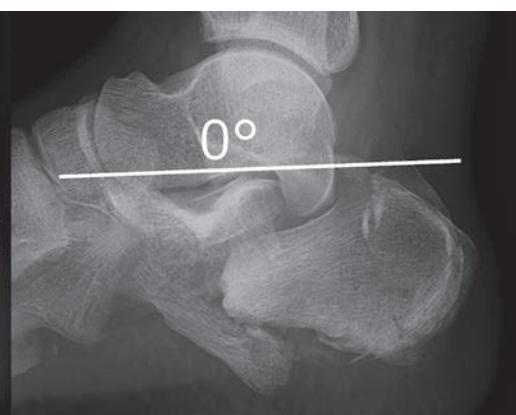


図20 患側

踵骨は複雑な解剖学的構造を有し、これに外傷が加わると単純X線像では損傷の程度を把握し、損傷形態を立体的に把握することは困難なため、CTが有用である。CTによる分類は、近年ではSanders分類が広く用いられており、踵骨の冠状

断水平断より骨折部の詳細な損傷度を評価できる（図21）。Sanders分類は後距踵関節の損傷度に注目した分類であり、骨折型はType I～IVに分け、治療法の選択、治療成績と関連づけている¹⁾。

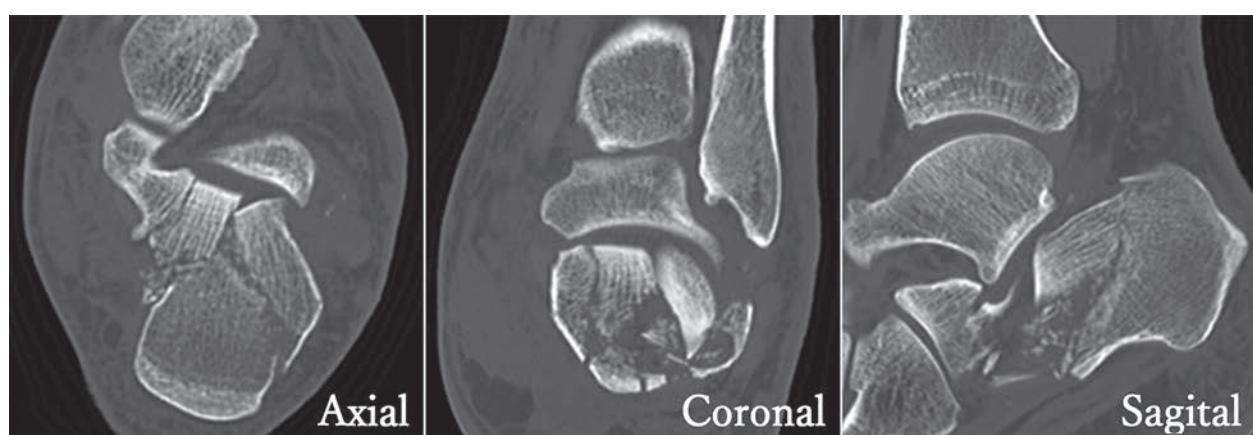


図21 関節陥没型 Type III BC

〈症例7〉 跖骨骨折（図22、23）

33歳、女性、4階から転落、JCS III-100。

後距踵関節面が跖骨隆起と一体となって舌のよ

うな骨片が落ち込んで骨折している舌状型である
(Essex-Lopresti分類 関節内骨折 舌状型)。



図22 正面像

図23 側面像

4 おわりに

四肢外傷において、単純X線画像は診断と治療方法の選択、経過観察に利用され、有用な情報が得られる。損傷の程度により正確な肢位が得られず、ポジショニングに苦慮することも多々経験する。撮影の仕方によっては微細な骨折を隠してしまうこともあり、どこかに疾患が隠れているかもしれない、ということを念頭に置いて撮影に望みたい。

参考文献

- 1) 福田国彦, 他. 骨折の画像診断 改訂版. 羊土社, 2014.
- 2) 舟崎裕記, 他. 上腕骨近位端骨折に対する手術成績. 整形外科 9: 1247-1251, 2003.
- 3) Herman MJ et al. Relationship of the anterior humeral line to the capitellar ossific nucleus: variability with age. J Bone Joint Surg Am 91: 2188-2193, 2009.
- 4) Fick DS, Lyons TA. Interpreting elbow radiographs in children. Am Fam Physician 55: 1278-1282, 1997.
- 5) 横殿文香理, 他. 小児骨折の勘どころ 四肢の骨折を中心として. 日本小児放射線学会 28(1): 38-44, 2012.
- 6) Lincoln TL, Mubarak JL. "Isolated" traumatic radial-head dislocation. J Pediatr Orthop. 14: 454-457, 1994.
- 7) Bado JL. The Monteggia lesion. Clin Orthop. 50: 71-86, 1967.
- 8) 日本整形外科学会, 日本骨折治療学会. 大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版. 南江堂, 2011.
- 9) 臨床放射線編集委員会. 救急画像診断のすべて. 金原出版, 臨床放射線 60(11): 1496-1505, 2015.

第1地区研修会「大腸CTの基礎」に参加して

社会福祉法人三井記念病院 小野崎良介

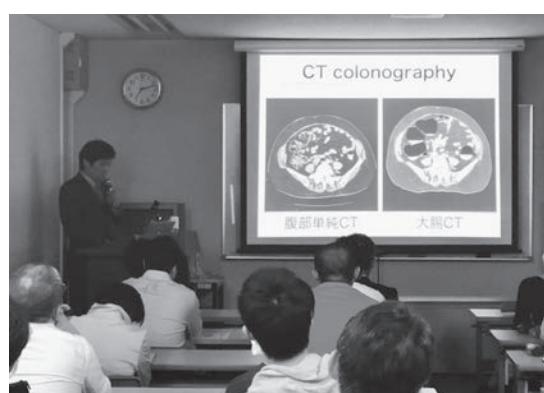
平成30年10月19日に行われた第1地区研修会「大腸CTの基礎」に参加致しました。大腸CTにおける前処置から画像解析までの各段階をイーメディカル東京遠隔画像診断センターの鈴木雅裕先生にご講演いただきました。

日本では、大腸がんと診断された人数は年々増加しており、臓器別がん死亡者数において男性では3番目、女性では最も多いことが分かっています。大腸がんは比較的進行が遅いため、早期発見・早期治療が望れます。大腸CTはスクリーニング・大腸がん術前検査・内視鏡不通過例に対して行われ、内視鏡検査と比較し下剤の量が少なく強い痛みを伴わないなど患者への負担が少ないことが特徴として挙げられます。

研修会では、大腸CTにおける前処置について、高張液を用いる場合と等張液を用いる場合があるとご説明していただき、それぞれ使用持続時間が異なるため検査開始時間を考慮し決定する必要があるとのことでした。また、多くの施設で行われている「タギング」についてお話があり、その際、使用する造影剤は、CT用経口造影剤コロンフォート内用懸濁液25%と経口・注腸用水溶性消化管造影剤ガストロ

グラフィンがあります。前者は残渣に混ぜるため食後に服用し、後者は残液に混ぜるため洗腸液と服用する必要があるとのことでした。そして、実際の検査では、腸管の拡張不良が多くみられ、特に腹臥位で撮影する際、腹部がつぶれるため拡張不良になりやすく、このような場合、寝台のマットの一部を低くしたり体位変換を行うことで拡張不良部位を失くすことが大切であるとのことでした。また、画像解析では、仮想展開画像や仮想内視鏡画像、アキシャル画像を使用することで大腸全体を解析することができます。最後に、トピックスとして超高精細CTによる大腸CT画像を提示していただき、タギングによる造影剤のアーチファクトで見えにくかった部分の辺縁がはっきりと区別することができました。今まで評価不良であったものも評価しやすい画像になっており非常に興味が湧きました。

当院では、まさに大腸CTを始めた段階であり、私自身まだまだ知識が不足しているので今回の研修会は有意義な時間となりました。今回得た情報を職場に還元させていただきたいと思います。ご講演ありがとうございました。



超音波画像研究会 定例会

第255回定例会

日 時：平成30年12月12日（水）19時00分（受付開始18時30分～）

会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

テー マ：「US所見の整理 ～脾疾患を中心～」

講 師：日本大学医学部消化器肝臓内科 松本直樹 先生

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円（入会金含む）/学生無料

※事前の申し込み、登録は不要です。直接、会場までお越しください。

超音波画像検査において疾患の鑑別に迷うことは多々あります。それには疾患を深く知り、多くの症例を経験すると同時に、所見について正しく理解していることも重要です。今回は脾疾患の所見について、松本先生にご講演いただきます。

定例会、講習会の詳細は超音波画像研究会ホームページにて

お問い合わせ先：超音波画像研究会（群馬県高崎市問屋町3-3-4）

E-mail : us.image.workshop@gmail.com TEL : 027-388-8627

イエローケーキ

「珠玉の一枚」

数年前の春、ふと日本画が観たくなり恵比寿にある山種美術館を初めて訪れた。ここは日本画の所蔵では国内有数で、私の好きな川合玉堂の作品の展示も多い。玉堂美術館に行きたいが青梅まで行くのもしんどいので、代わりに訪ねてみた…。

そこで、奥村土牛の「鳴門」という絵に出会った。大げさだが、身動きできなくなるくらい感動を感じた。そのまま30分くらい絵の前に立っていたと思う。時間を忘れるほど観入ってしまった。監視員に声を掛けられるまで…。もちろん徳島の「鳴門のうしお」を題材にした絵で、春を思わせる、けぶるような若草色の海の中、中央やや右下に大きな渦が描かれている。渦の描き方が巧みなせいか、まるで自分が、“渦に引き込まれるぎりぎりのところで、必死に抗う小舟の淵”にいてこの絵を観ているような錯覚に陥る。身動きできなくなったのはそのせいかもしれない。

今まで数多く絵画に出会ったが、いつも絵の外側から傍観者の立場で觀てきた。だがこの絵だけは“絵の中に立って絵を觀る”ような気持にさせられる。私にとってはかけがえのない、宝物のような作品である。

今夏もこの絵に会うため山種美術館を訪れた。所蔵品なのに常設展示をしていないので、企画展をチェックし、年に一度の機会を逃さないようにしなければならないのがネックだ。ちなみに有名な、土牛の「醍醐の桜」もこの美術館が所蔵しているが、こちらも常設展示ではないので、春の企画展でしかお目に掛かれない。この記事を読んで興味を持たれた方、ご注意！
shak



公益社団法人 日本放射線技術学会 関東支部

平成30年度 第3回 関東Angio研究会（第5回ステップアップセミナー）

「頭頸部領域における難解症例の CT・MRI所見からIVRまで」

プログラム

- 脳動静脈奇形(AVM)
- 硬膜動静脈瘻(d-AVF)
- 内頸動脈海綿靜脈洞瘻(CCF)
- 脳梗塞の薬物療法
- 脳血管領域での論文紹介
- 特別講演

「脳神経領域d-AVFの病態と治療」

老年病研究所附属病院 脳神経外科
宮本 直子 先生

日 時：2019年1月12日（土）（受付 12:30～）

会 場：群馬パース大学 4号館 12階 KANBEホール
〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-3-4

募集定員：150名（先着順）

参 加 費：JSRT会員 2,000円 / 非会員 3,000円

申込期間：平成30年11月20日(火)～12月17日(月)

申込方法：関東Angio研究会ホームページより

<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>

<お問い合わせ>

老年病研究所附属病院 画像診断部

高橋 康之 e-mail : kanto.angio@gmail.com



関東
Angio
ステップアップ
セミナー
研究会



平成30年度 第3回関東Angio研究会（第5回ステップアップセミナー） 『頭頸部領域における難解症例のCT・MRI所見からIVRまで』

関東支部

関東Angio研究会主催「第5回ステップアップセミナー」を、2019年1月12日（土）に開催します。

ステップアップセミナーは、血管撮影技術のより高度な専門性を学習する場として位置付けております。

今回のセミナーでは、頭頸部領域疾患の中でも難解と思われる症例を取り上げ、CTやMRIの画像所見からIVRまで、経験豊富な診療放射線技師が解説します。脳血管内治療を実施している施設はもちろんですが、実施していない施設でも日常の検査の中で遭遇する可能性があり、CT・MRI担当の方々にも役立つ内容となっています。

また、特別講演として老年病研究所附属病院脳神経外科の宮本直子先生に、d-AVF（硬膜動脈瘻）の病態と治療についてお話を頂きます。難解症例における画像診断の知識をより深め、今後の業務に活かしていただければ幸いです。奮ってご参加下さい。

なお、本セミナー参加者には、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の認定ポイントが付与されます。

日 時：2019年1月12日（土）13:00～17:00（12:30受付開始）

会 場：群馬パース大学 4号館 12階 KANBEホール

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町3-3-4

JR上越線・両毛線「高崎問屋町駅」問屋口から徒歩4分

注意事項：駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

募集定員：150名（先着順。定員になり次第、募集を終了します）

参加費：日本放射線技術学会員2,000円、非会員3,000円、学生無料（テキスト代を含みます）

申込期間：2018年11月20日（火）～12月17日（月）

申込方法：関東Angio研究会ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>) よりお申し込みください。

プログラム：（予定）

13:00～13:10 開会式

13:10～13:40 脳動脈奇形（AVM）

横浜新都市脳神経外科病院 斎藤 誠

13:40～14:10 硬膜動脈瘻（d-AVF）

筑波メディカルセンター病院 石橋 智通

14:20～14:50 内頸動脈海綿静脈洞瘻（CCF）

東海大学医学部付属病院 山本 和幸

14:50～15:10 脳梗塞の薬物療法

第一三共株式会社

15:10～15:30 脳血管領域での論文紹介

千葉県救急医療センター 今関 雅晴

15:40～16:40 特別講演「脳神経領域d-AVFの病態と治療」

老年病研究所附属病院 脳神経外科 宮本 直子 先生

16:40～16:50 閉会式

問い合わせ先：老年病研究所附属病院 画像診断部 高橋康之 e-mail : kanto.angio@gmail.com

共 催：群馬パース大学

後 援：茨城Angio研究会、茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、

神奈川アンギオ撮影研究会、神奈川カテーテルコメディカル研究会、

埼玉心血管コメディカル研究会、循環器画像技術研究会、千葉アンギオ技術研究会、

千葉メディカルスタッフ研究会、栃木県カテーテル室スタッフ研究会（五十音順）

Pipe line

パイプライン

超音波スクリーニング研修講演会2018五反田

- 会期：平成30年12月15日（土）午前9時40分～午後5時00分
※開場・受付開始：午前9時から
- 会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）
※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
- 参加費：6,000円 事前登録不要
- 主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク
- 共催：日本総合健診医学会／日本消化器がん検診学会
- 後援：日本超音波検査学会／全国労働衛生団体連合会／日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会／日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会／超音波検査法フォーラム／東京超音波研究会

■プログラム

テーマ：USスクリーニングの重要所見

時間	第一会場（自由席1,000席）	第二会場（優先席150席・自由席200席）
9:40	開会の辞 理事長 桑島 章	
9:45 ～10:30	■胆道 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター 大橋病院） 司会：岩田 好隆（東京女子医科大学 東医療センター）	ライブセミナー1 ■脾臓 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：鳥海 修（関東中央病院）
10:45 ～11:30	■消化管 講師：長谷川雄一（成田赤十字病院） 司会：桑島 章（PL東京健康管理センター）	ライブセミナー2 ■胆道 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター） 司会：谷田部眞由美
12:00 ～12:45	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） 司会：若杉 聰（千葉西総合病院）	
13:00 ～13:45	■脾臓 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） 司会：神宮宇広明（東京都予防医学協会）	ライブセミナー3 ■消化管 講師：長谷川雄一（成田赤十字病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）
14:00 ～14:45	■乳腺 講師：渡邊 良二（糸島医師会病院） 司会：高田 悅雄（那須赤十字病院）	ライブセミナー4 ■肝臓 講師：若杉 聰（千葉西総合病院） 司会：伊藤 正範（新宿健診プラザ）
15:00 ～15:55	■腎臓 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） 司会：岩下 和広（飯田市立病院） ■超音波検査士受験（健診領域の書類審査）及び超音波検査士更新について	
16:10 ～16:55	■肝臓 講師：小川 真廣（日本大学病院） 司会：矢島 晴美（東京都予防医学協会）	
16:55	閉会の辞 副理事長 関口 隆三	

※超音波検査士更新5点が付与されます。

※ランチョンセミナー 昼食を用意しています。（1,000食限定）

※超音波関連書籍の展示販売を行います。



■問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク

E-mail : us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp

■ホームページ : <http://us-screening.kenkyuukai.jp/>

TOC五反田メッセ アクセス

日本消化器画像診断 情報研究会

第31回
東京大会

さらなる発展を目指して

Next Step For The Future

消化管造影検査

腹部超音波検査

腹部 CT・MRI

VS. 読影

CTC ハンズオン

etc...



2019年
4月20・21土・日
開催

【会場】タワーホール船堀 東京都江戸川区
船堀 4-1-1

大 会 長 鶴田 恭央 東京医科大学病院予防医学健診センター
実行委員長 安藤 健一 東京労働者医療会東葛病院

事前登録は東京大会HPから可能です
<http://nsk24thtokyo.kenkyuukai.jp/>



詳しくは東京大会HPをご覧ください

*日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門認定技師制度、資格更新のための2点が付与されます。

*日本X線CT専門技師認定機構 単位認定講習会として講師(演者)1単位、受講者6単位が付与されます。

会員動向

平成30年度4月～10月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成29年度末集計	2,163	180	24	18	100
平成30年 4月	2,165	7	3	5	3
平成30年 5月	2,208	45	2	2	2
平成30年 6月	2,225	21	2	3	3
平成30年 7月	2,253	25	4	0	1
平成30年 8月	2,273	21	2	2	1
平成30年 9月	2,281	13	4	3	6
平成30年10月	2,305	26	1	0	3

Canon

[K i w a m i]
[T a k u m i]
[N a g o m i]

Vantage Galan™ 3T

認証番号: 228ADBZX00066000

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>
東芝メディカルシステムズ株式会社は、2018年1月に「キヤノンメディカルシステムズ株式会社」へ社名変更いたしました。

画力、速力、究めて。
魅せるMRI
Vantage Galan 3T

テーマは、「究」「匠」「和」。
「究の質」を追求した先鋭の高画質。
新技術PURERFによりSNRが20%
向上、高精細な画像を可能にします。
さらに、撮像から解析までをアシ
ストする豊富なアプリケーション
は、臨床の世界を広げます。
省エネ・省スペースを叶えた
「匠の技」。
広い開口部と静音化技術により、
患者さんがリラックスして検査を
受けられる「和の空間」。
日本の技術の粹と心を尽くした
3テスラMRIの世界が現れます。

Made For life

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成30年度

1. 学術研修会

☆第17回ウインターセミナー	平成31年1月26日(土)
☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー 第83回日暮里塾ワンコインセミナー	平成31年1月17日(木)
3. 集中講習会 第11回MRI集中講習会	平成31年2月3日(日)
☆4. 支部研修会 城南支部研修会 多摩支部研修会	平成31年1月12日(土)
5. 地区研修会 第3地区研修会 第14地区研修会 第12地区研修会 第8地区研修会 第4地区・第16地区合同勉強会(SART第2地区との合同開催) 第5地区研修会	平成31年1月29日(火) 平成31年2月16日(土) 平成31年2月22日(金) 平成31年2月23日(土) 平成31年2月24日(日) 平成31年3月1日(金)
6. SR推進 SR推進委員会研修会	平成31年3月10日(日)

7. 地球環境保全活動

- 荒川河川敷清掃活動
日暮里駅前清掃活動

関連団体

超音波画像研究会 第255回定例会	平成30年12月12日(水)
超音波スクリーニング研修講演会2018五反田	平成30年12月15日(土)
平成30年度第3回関東Angio研究会(第5回ステップアップセミナー)	平成31年1月12日(土)
平成30年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	平成31年1月26日(土)～27日(日)
平成30年度第6回業務拡大に伴う統一講習会	平成31年3月2日(土)～3日(日)
日本消化器画像診断情報研究会 第31回東京大会	平成31年4月20日(土)～21日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

News

12月号

日 時：平成30年10月4日（木）
午後6時45分～午後7時15分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、
関 真一、鈴木雄一、市川重司、江田哲男、
浅沼雅康、高野修彰、長谷川雅一、平瀬繁男、
工藤年男、高橋克行、市川篤志、原子 満、
渡辺靖志、宮谷勝巳、鮎川幸司
出席監事：葛西一隆、野田扇三郎
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、関谷 薫（第2地区委員長）、目黒一浩（第4地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、三富 明（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）
欠席理事：安宅里美（議事終了後に参加）
議 長：篠原健一（会長）
司 会：白木 尚（副会長）
議事録作成：新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長挨拶

本年度の下半期の活動として、まず次年度の計画の準備がある。その他にも来年行われる関東甲信越学術大会や再来年の70周年、3年後には日本診療放射線技師学術大会およびAACRTが控えている。また、秋には行政まつりなど数多くの事業が予定されている。広報委員会だけでなく各地区、支部の皆さまのご協力をお願いしたい。

報告事項

1) 会長

・9月21日～23日まで第34回日本診療放射線技師学術大会が山口県下関市で行われ、2千名を超える参加者となった。3年後の東京開催ではさらに多くの参加を目指したい。今大会では東京都から数多くの参加があり、山内大会長・山口県診療放射線技師会三輪会長から感謝のメールを頂いた。皆さまのご協力に感謝申し上げる。

2) 副会長

白木副会長

・関東甲信越学術大会実行委員会が9月に2回行われた。同大会のホームページが10月中には閲覧できる予定である。12月の役員研修会で中間報告を行う。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

4) 各委員会報告

高野委員長

・表彰委員会より、10月1日に本年度の東京都功労者表彰式が行われ、元森山記念病院の田川雅人氏が受賞したことを報告する。

5) 地区委員会報告

・第11、13地区委員会は開催されなかった。

6) その他

長谷川委員長

・会長報告にもあったが、10、11月は行政まつりが数多く予定されている。各地区、支部の皆さまのご協力をお願いしたい。また昭島市の「蓮村整形外科内科」から、骨密度測定装置の入れ替えに伴い、廃棄となつた装置を無償で頂いた。専門部委員会では報告済みである。

議 事

1) 事業申請

①平成30年度第15地区研修会

テーマ：今日学んで明日から実践「一般撮影パラメータ」

日 時：平成30年11月22日（木）19時00分～20時30分

場 所：高津市民会館

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②平成30年度第3地区研修会

テーマ：ティーチングファイル～ここがポイント～
日 時：平成31年1月29日(火) 19時00分～20時30分
場 所：東京医科大学病院
上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

③平成30年度第12地区研修会

テーマ：学会発表への道
日 時：平成31年2月22日(金) 18時30分～20時30分
場 所：佐々総合病院 三号館 4階ホール
上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

④平成30年度第4地区・第16地区合同勉強会(SART 第2地区との合同開催)

テーマ：骨軟部撮影セミナー2019
日 時：平成31年2月24日(日) 9時50分～18時30分
場 所：JR東京総合病院 講堂(B1)
上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) 委員新任変更申請について

鈴木委員長

・第14地区で地区委員の新任申請をいただいた。ご審議をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) ソウル特別市放射線士会学術大会 International ses-sion演題募集について

鈴木委員長

・昨年同様、来年3月に行われるソウル特別市放射線士会学術大会にTARTから2演題の推薦を行いたい。11月号の会誌に掲載予定で、年内まで演題を募集する予定である。募集を行った後、学術教育委員会に選定していただき、TARTの演題として発表していくだく運びとなる。

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

9月：新入会13名、転入4名、転出3名、退会6名

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第6地区

・9月理事会で承認された会費返還について、今後定款などに“返還請求”についての項目が新たにつくられ

ると思われるが、今回“本人ではなく家族からの請求”“金銭的困窮”での返還の“前例”ができた。今後どのような線引きを行うのか？特に“金銭的困窮”を第3者が判断するのは非常に困難な作業だと思われるが…。

篠原会長

・今回、決算処理された過年度について返還は行っていないため、前例とはなっていない。事情に鑑み、決算処理されていない本年度分について退会扱いとした。今後、定款に会費返還に関する項目を明示する予定である。

連絡事項

1) 各専門部からの連絡事項

渡辺委員長：11月3日にSR推進委員会(公益・災害)研修会が開催される。非常に興味深い内容であるので、各地区や支部にお声掛けをお願いしたい。

市川委員長：第81回ワンコインセミナーが開催される。概要をメールで送りますので参加をお願いしたい。また、東放技・東京支部合同学術大会が10月20日に行われる。こちらも奮っての参加をお願いしたい。

2) その他

鈴木委員長：役員研修会が12月8、9日に行われる。出欠のエクセルシートを送るので、11月の理事会までに提出をお願いしたい。

高橋地区委員長：10月26日に城北支部研修会が研修センターで行われる。テーマは「AIとの上手な付き合い方」である。奮ってのご参加をお願いしたい。

平瀬地区委員長：10月30日に城西支部研修会が東京医科大学病院で行われる。テーマは「線量管理 被ばく線量管理に向けて」である。奮ってのご参加をお願いしたい。

3) 今後の予定について(総務委員会)

10月22日に中間監査が行われる。事業報告や地区委員会報告などがされていない場合は、別途ご連絡致しますのでご協力をお願いしたい。また、事業申請の際に仮の演題名で申請される場合があるが、正式に名称が決定しましたらご連絡を再度いただきたい。

また、来年の1月11日に新春のつどいが行われる。まだ案ではあるが案内状を資料に添付したので、業者の方々に呼び掛けをお願いしたい。

以上

平成30年 東京放射線 総目次

Vol.65 No.757~767

1月号 Vol.65 No.757

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	会長 篠原健一 4
会告1 「新春のつどい」のご案内	5
会告2 第75回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6
会告3 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	7
会告4 第16回ウインターセミナー	学術教育委員会 8
会告5 第10回MRI集中講習会	学術教育委員会 9
会告6 平成29年度城西支部研修会	城西支部委員会 10
会告7 平成29年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 11
会告8 平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 12
お知らせ1 平成29年度第12地区研修会	第12地区委員会 13
お知らせ2 平成29年度第15地区研修会	第15地区委員会 14
お知らせ3 平成29年度第8地区研修会	第8地区委員会 15
お知らせ4 平成29年度第5地区研修会「第5地区のつどい」	第5地区委員会 16
お知らせ5 第6地区meeting	第6地区委員会 17
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 18
新春企画 平成30年新春座談会「5支部若手代表者、篠原会長を囲む会」	… 19
平成28年度新人奨励賞 受賞報告	南山諒輔 29
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第二部 血管系「大動脈解離」	長谷川浩章 33
こえ	
・第56回東村山市民産業まつり印象記	加藤夏生 39
・第16回城北支部研修会に参加して	大貫弘二、岡部博之、高橋克行 40
パイプライン	
・平成29年度胃がん検診読影従事者講習会のお知らせ	42
・平成29年度第2回肺がん検診従事者講習会のお知らせ	44
・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	46
平成29年度11月期会員動向	47
平成29年度第7回理事会報告	48
研修会等申込書	51
—— Column & Information ——	
・イエローケーキ	39
・求人情報	47
・学術講演会・研修会等の開催予定	50

2月号 Vol.65 No.758

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 つながる医療、つなげる「和」～One for all, All for one～	副会長 白木 尚 4
会告1 第10回MRI集中講習会	学術教育委員会 5
会告2 平成29年度城西支部研修会	城西支部委員会 6
会告3 平成29年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 7
会告4 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5 第76回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告6 平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 10

お知らせ1 平成29年度第15地区研修会	… 第15地区委員会 11
お知らせ2 平成29年度第8地区研修会	… 第8地区委員会 12
お知らせ3 第16地区研修会(TART・SART地区合同)	… 第16地区委員会 13
お知らせ4 平成29年度第5地区研修会「第5地区のつどい」	… 第5地区委員会 14
お知らせ5 第6地区meeting	… 第6地区委員会 15
叙勲 瑞宝双光章	… 16
平成28年度新人奨励賞 受賞報告	萩原奈津美 18
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第二部 血管系「食道静脈瘤」	… 野中孝志 21
こえ	
・第74回日暮里塾ワンコインセミナー印象記	田村直実 25
パイプライン	
・超音波画像研究会 第253回定例会	… 26
・日本消化器がん検診学会 第49回放射線研修委員会 学術集会	… 27
・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	… 28
平成29年度第8回理事会報告	… 29
平成29年度12月期会員動向	… 33
—— Column & Information ——	
・イエローケーキ	… 26
・学術講演会・研修会等の開催予定	… 31

3月号 Vol.65 No.759

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 御誓文に想う	会長 篠原健一 4
告示1 平成30・31年度代議員選挙結果について	… 選挙管理委員会 5
告示2 平成30・31年度役員選挙	… 選挙管理委員会 6
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第69回定期総会	… 7
会告2 平成30・31年度役員選挙の実施について	… 選挙管理委員会 8
会告3 第76回日暮里塾ワンコインセミナー	… 学術教育委員会 11
会告4 平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	… SR推進委員会 12
会告5 第69回定期総会での表彰(勤続20年)	… 渋谷委員会 13
お知らせ1 第6地区meeting	… 第6地区委員会 14
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	… 情報委員会 15
平成28年度新人奨励賞 受賞報告	… 山崎綾乃 16
報告 「『妊娠中の働き方』プロジェクトチーム」アンケート調査	… 厚生調査委員会 21
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第二部 血管系「肺血栓塞栓症」	… 比内聖紀 26
こえ	
・OTAふれあいフェスタ印象記	… 藤田佳名子、中村桃子 31
・第75回日暮里塾ワンコインセミナー印象記	… 田村直実 32
パイプライン	
・日本消化器がん検診学会 第49回放射線研修委員会 学術集会	… 33
・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	… 34
・南関東FRT第4回研修会	… 35
・平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	… 36
平成29年度4月～1月期会員動向	… 38
平成29年度第9回理事会報告	… 39
研修会等申込書	… 42
登録事項変更届	… 43

Column & Information

・会費納入のお願い	25
・求人情報	38
・学術講演会・研修会等の開催予定	41

4月号 Vol.65 No.760

診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 参加と参画 会長 篠原健一	3
会告1 平成30年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第77・78回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 学術教育委員会	4
会告2 第16回ペイシエントケア学術大会 学術教育委員会	6
会告3 第62回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	8
会告4 第63回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	9
会告5 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	10
お知らせ1 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	12
報告 平成29年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 アンケート調査結果 厚生調査委員会	13
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第三部 骨折系「頭部外傷」 野中孝志	20
こえ ・「新春のつどい」に参加して 鮎川幸司	26
・東京都診療放射線技師会 2018年 新春のつどいに参加して 濑江鈴佳	27
・第12地区研修会「救急(夜間帯)における造影駆幹CT撮影のコツ ～もうひとりでも怖くない～」に参加して 梶山貴幸	28
・多摩支部研修会を終えて 五十嵐弘樹	29

バイブルайн

・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	30
・南関東FRT第4回研修会	31
・平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	32
平成29年度4月～2月期会員動向	34
平成29年度第10回理事会報告	35
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・イエローケーキ	34
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

5月号 Vol.65 No.761

巻頭言 創立70周年、法人化40周年 準備開始! 副会長 石田秀樹	2
告示1 平成30・31年度役員選挙について	3
会告1 平成30年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第77・78回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 学術教育委員会	4
会告2 第16回ペイシエントケア学術大会 学術教育委員会	6
会告3 第62回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	8
会告4 第63回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	9
会告5 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	10
会告6 平成30年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	12
会告7 平成29年度学術奨励賞・新人奨励賞 学術教育委員会	13
お知らせ1 クリーンデー(中央区内一斉清掃活動) 第2地区委員会	14
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	15

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第69回定期総会資料

・第1号議案 平成29年度事業報告(案)	16
I. 総括	
II. 事業報告	
III. 活動報告	
IV. 活動報告(庶務概要)	
・第2号議案 平成29年度決算報告(案)	35
・第3号議案 平成30・31年度役員選挙	43
報告 平成29年度監査報告	44
報告 平成30年度事業計画	45
I. 総括	
II. 定款に基づく本会の事業	
III. 委員会事業計画	
・平成30年度予算	56
バイブルайн	
・第16回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会	58
・駒澤大学診療放射線研究会 第1回研究会	59
・第45回駒澤放射線同窓会総会講演会	59
・下町撮影技術検討会 第30回記念大会	60
・第35回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内	61
・平成30年度第1回関東Angio研究会	62
・平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	64
・南関東FRT第4回研修会	66
平成29年度4月～3月期会員動向	67
平成29年度第11回理事会報告	68
研修会等申込書	71

Column & Information

・休載のお知らせ	1
・求人情報	14
・学術講演会・研修会等の開催予定	70

6月号 Vol.65 No.762

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 小野賞 副会長 白木 尚	4
会告1 第62回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	5
会告2 第63回きめこまかな生涯教育 学術教育委員会	6
会告3 平成30年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	7
会告4 第79回日暮里塾ワンコインセミナー 学術教育委員会	8
会告5 第17回サマーセミナー 学術教育委員会	9
会告6 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	10
お知らせ1 平成30年度第9地区研修会 第9地区委員会	12
お知らせ2 平成30年度第4地区研修会 第4地区委員会	13
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	14
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第三部 骨折系「椎体」 山口勝也	15
こえ ・骨軟部撮影セミナー2018に参加して 永野仁士	20
・骨軟部撮影セミナー2018に参加して 吉野友梨絵	21
・第6地区meetingに参加して 長谷川和哉、大塚竜登、田村直実、高橋克行	22

・第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して … 三平悠莉	24	・学術講演会・研修会等の開催予定	40
・第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して … 田辺未来	24		
・平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会に参加して … 原 基喜	25		
パイプライン			
・下町撮影技術検討会 第30回記念大会	26	診療放射線技師業務標準化宣言	1
・第35回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内	27	診療放射線技師のための接遇規範	2
・平成30年度第1回関東Angio研究会	28	巻頭言 「黄金」に魅かれて	4
・平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	30	会告1 第64回きめこまかな生涯教育	5
・南関東FRT第4回研修会	32	会告2 第81回日暮里塾ワンコインセミナー	6
平成30年度4月期会員動向	33	会告3 第17回城北支部研修会	7
追悼	33	会告4 第18回公益社団法人東京都診療放射線技師会・ 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	8
平成30年度第1回理事会報告	34	会告5 第65回きめこまかな生涯教育	10
研修会等申込書	38	会告6 平成30年度城西支部研修会	11
登録事項変更届	39	会告7 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	12
Column & Information			
・お詫びと訂正	21	会告8 医療被ばく低減施設認定取得講演会	
・学術講演会・研修会等の開催予定	37	第21回メディカルマネジメント研修会合同開催	13
7・8月合併号 Vol.65 No.763			
診療放射線技師業務標準化宣言	1	会告9 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	14
診療放射線技師のための接遇規範	2	お知らせ1 平成30年度第2地区研修会	16
巻頭言 五期目就任にあたり	4	お知らせ2 平成30年度第1地区研修会	17
会告1 第79回日暮里塾ワンコインセミナー	5	お知らせ3 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	18
会告2 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	6	こ え	
会告3 第17回サマーセミナー	8	・看護フェスタに参加して	篠田 浩 19
会告4 平成30年度城東支部研修会	9	・第15地区研修会に参加して	戸島暁史 20
会告5 第80回日暮里塾ワンコインセミナー	10	・第15地区研修会を開催して	小野寺健太 21
会告6 第64回きめこまかな生涯教育	11	・ピンクリボンウォーク in 昭和女子大学に参加して	・津澤路子 22
会告7 第18回公益社団法人東京都診療放射線技師会・ 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	12	・第79回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して	深谷香瑠 24
会告8 第17回城北支部研修会	14	パイプライン	
お知らせ1 平成30年度第9地区研修会	15	・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田	25
お知らせ2 平成30年度第4地区研修会	16	・平成30年度第2回関東Angio研究会(5周年記念セミナー)	26
お知らせ3 平成30年度第2地区研修会	17	平成30年度4月～6月期会員動向	28
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	18	平成30年度第3・4・5回理事会報告	29
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～		Column & Information	
第三部 骨折系「胸部・胸郭外傷」	19	・求人情報	28
こ え		・学術講演会・研修会等の開催予定	35
・フレッシャーズセミナーに参加して	稻垣杏奈 30		
・ゴミゼロで美しいまちづくり 中央区クリーンデーに参加して	・関谷 薫 31		
パイプライン			
・超音波画像研究会 第254回定例会・第15回ワンバイザー講習会(腹部超音波実技講習会)	32		
・第62回放射線同友会	33		
・南関東FRT第4回研修会	34		
平成30年度4月～5月期会員動向	35		
平成30年度第2回理事会報告	36		
Column & Information			
・イエローーケーキ	39、41		
・求人情報	35		
・「東京放射線」7・8月合併号のお知らせ	35		
9月号 Vol.65 No.764			
診療放射線技師業務標準化宣言	1		
診療放射線技師のための接遇規範	2		
巻頭言 「黄金」に魅かれて	副会長 白木 尚 4		
会告1 第64回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 5		
会告2 第81回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6		
会告3 第17回城北支部研修会	城北支部委員会 7		
会告4 第18回公益社団法人東京都診療放射線技師会・ 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術教育委員会 8		
会告5 第65回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 10		
会告6 平成30年度城西支部研修会	城西支部委員会 11		
会告7 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 12		
会告8 医療被ばく低減施設認定取得講演会			
第21回メディカルマネジメント研修会合同開催	学術教育委員会 13		
会告9 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	14		
お知らせ1 平成30年度第2地区研修会	第2地区委員会 16		
お知らせ2 平成30年度第1地区研修会	第1地区委員会 17		
お知らせ3 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	18		
こ え			
・看護フェスタに参加して	篠田 浩 19		
・第15地区研修会に参加して	戸島暁史 20		
・第15地区研修会を開催して	小野寺健太 21		
・ピンクリボンウォーク in 昭和女子大学に参加して	・津澤路子 22		
・第79回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して	深谷香瑠 24		
10月号 Vol.65 No.765			
診療放射線技師業務標準化宣言	1		
診療放射線技師のための接遇規範	2		
巻頭言 X年問題	会長 篠原健一 4		
会告1 第81回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 5		
会告2 第18回公益社団法人東京都診療放射線技師会・ 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術教育委員会 6		
会告3 第17回城北支部研修会	城北支部委員会 8		
会告4 第65回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 9		
会告5 平成30年度城西支部研修会	城西支部委員会 10		
会告6 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃 <荒川クリーンエイド2018@北区 荒川岩淵閑緑地>	… 11		
会告7 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 12		
会告8 医療被ばく低減施設認定取得講演会			
第21回メディカルマネジメント研修会合同開催	学術教育委員会 13		

会告9	平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	14
会告10	第82回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 16
会告11	日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	涉外委員会 17
お知らせ1	平成30年度第13地区研修会	第13地区委員会 18
お知らせ2	平成30年度第1地区研修会	第1地区委員会 19
お知らせ3	平成30年度第15地区研修会	第15地区委員会 20
お知らせ4	2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	21
お知らせ5	東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 22
連 載	学術が行く～急性疾患アラカルト～	
	第三部 骨折系「骨盤外傷」	岡本淳一 23
こ え		
・第62回・63回きめこまかな生涯教育に参加して	城尾 俊	29
・城東支部研修会に参加して	宇賀神哲也	30
・城東支部研修会を開催して	富丸佳一	30
パイプライン		
・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田		32
平成30年度4月～8月期会員動向		33
研修会等申込書		35
<hr/> Column & Information		
・イエローケーキ		33
・学術講演会・研修会等の開催予定		34

11月号 Vol.65 No.766		
診療放射線技師業務標準化宣言		1
診療放射線技師のための接遇規範		2
巻頭言 つなげよう“和”	副会長 石田秀樹	4
会告1	平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会 5
会告2	医療被ばく低減施設認定取得講演会	
第21回メディカルマネジメント研修会合同開催	学術教育委員会 6	
会告3	第82回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 7
会告4	平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	8
会告5	平成30年度城南支部研修会	城南支部委員会 10
お知らせ1	平成30年度第15地区研修会	第15地区委員会 11
お知らせ2	2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会演題募集について	12
お知らせ3	ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	14
お知らせ4	東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 15
第69回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)		16
平成29年度 功労賞(勤続20年表彰)・小野賞受賞者		27
こ え		
・第64回きめこまかな生涯教育研修会に参加して	横森裕一	28
パイプライン		
・第63回放射線同友会		29
・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田		30
平成30年度4月～9月期会員動向		31
平成30年度第6回理事会報告		32
<hr/> Column & Information		
・求人情報		31
・学術講演会・研修会等の開催予定		34
・イエローケーキ		35

12月号 Vol.65 No.767		
診療放射線技師業務標準化宣言		1
診療放射線技師のための接遇規範		2
巻頭言 片手にそろばん	会長 篠原健一	4
会告1 「新春のつどい」のご案内		5
会告2 平成30年度城南支部研修会	城南支部委員会	6
会告3 第83回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	7
会告4 第17回ウインターミニセミナー	学術教育委員会	8
会告5 第11回MRI集中講習会	学術教育委員会	9
会告6 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	SR推進委員会	10
会告7 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会		11
お知らせ1 平成30年度第3地区研修会	第3地区委員会	12
お知らせ2 平成30年度第12地区研修会	第12地区委員会	13
お知らせ3 第4地区・第16地区研修会(SART第2地区合同開催)	第4地区・第16地区委員会	14
お知らせ4 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について		15
お知らせ5 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項		16
連 載	学術が行く～急性疾患アラカルト～	
	第三部 骨折系「四肢外傷」	比内聖紀 21
こ え		
・第1地区研修会「大腸CTの基礎」に参加して	小野崎良介	28
パイプライン		
・超音波画像研究会 第255回定期例会		29
・平成30年度第3回関東Angio研究会(第5回ステップアップセミナー)		30
・超音波スクリーニング研修講演会2018五反田		32
・日本消化器画像診断情報研究会 第31回東京大会		33
平成30年度4月～10月期会員動向		34
平成30年度第7回理事会報告		36
平成30年東京放射線総目次		38
会費減額制度のお知らせ		42
<hr/> Column & Information		
・イエローケーキ		29
・学術講演会・研修会等の開催予定		35

会費減額制度のお知らせ

公益社団法人東京都診療放射線技師会の「会費減額」制度をお知らせ致します。

本制度は本会「会費に関する規程 第9条（会費減額）」に基づき、規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし年会費優遇の特典を設けております。

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民ならびに社会のために継続して役立てていただくことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

※ 会誌巻末または本会ホームページからダウンロードの会費減額処置申請書（様式6）に、必要事項を明記のうえ、FAXまたはメールにて本会事務所まで届出ください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程

(第9条抜粋)

(会費減額)

第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。

- (1) 60才以上の会員
- (2) 10ヶ年以上会員として在籍し、会費の完納者
- 2 当該年度の前年末までに所定の申請を行い〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
- 3 会費減免対象者の会費は以下のとおりとする。

(1) 60才以上～70才未満	年額	7,000円
(2) 70才以上	年額	3,000円
- 4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。
 - (1) この法人で行う啓発、教育活動を担える者として待遇する

会費減額処置申請書

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

会員番号				
氏名	印			
氏名(カタカ)				
氏名(英語)				
性別	男性・女性			
生年月日	昭和 年 月 日 生			
メールアドレス				
勤務先	勤務先名	部署		
	勤務先所在地	〒 -		
	電話			
自宅	現住所	〒 -		
	電話			
問い合わせ先	勤務先・自宅			
備考				

私は、会費に関する規程第9条により会費減額処置を申請いたします。

平成 年 月 日

技師会曆	昭和	年入会(年間)
受付	平成	年 月 日	
理事会承認	平成	年 月 日	印
減額処置通知	平成	年 月 日	印

Postscript

町内会のイベントで、避難所設営訓練に参加しました。災害時に指定されている避難所を使用する町会役員が集まり、避難所を立ち上げる訓練をするものでした。避難所となる中学校の体育館で倉庫から災害時に使用する機器備品を出し、体育館の床にひもで区画を作成していました。畳一畳程度の区画で、隣と隙間がないため座っている分には十分ですが、まっすぐ寝るには少し狭い感じです。しかし体育館の限られたスペースに多くの人が避難するにはこの程度の区画にするしかないようです。

また、避難所へ来る方の受付も行いました。避難所には、避難してくる方以外に、自宅避難で救援物資を受け取りに来る方、ボランティアの方、避難している人を探しに来る方などがいらっしゃいます。特にボランティアの方は、事前に地域に設置されている「災害ボランティアセンター（災ボラと略すようです）」で登録してもらい、そこから派遣されてくる形を取るようです。そのため避難所と災ボラで必要な

ボランティアの種類と人数等を連絡し合うことが必要でした。

普段災害訓練はよくありますが、避難所設営訓練は初めての経験でした。避難所に来た人が自分たちの町会のメンバーかを確認する必要があり、そのような場合は日頃から顔を合わせた付き合いをしていないと難しいと感じました。

(すえぞう)

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
株式会社マエダ



東京放射線 第65巻 第11号

平成30年11月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成30年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

電話・FAX （03）3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃